資料２

令和５（2023）年度

第１回　栃木県地域公共交通活性化協議会

令和５（2023）年度第１回地域部会の開催状況について

１．令和５年度第1回地域部会の開催概要

開催日時	県央：令和5年7月 5日(水)　10:00～11:30 県北：令和5年7月 5日(水)　13:30～15:00 県南：令和5年7月 7日(金)　13:00～14:30
開催場所	栃木県庁　１５階会議室　　（県央、県北） 栃木県庁　北別館２０１会議室（県南）
会議形式	ハイブリッド(対面とWEB)会議
議題	⑴令和４（2022）年度栃木県地域公共交通活性化協議会の開催状況について ⑵栃木県地域公共交通計画（仮称）に向けた意見交換
備考	事前に実施した第2回市町アンケート結果に基づいて、市町における課題や取組、栃木県への要望を共有した。

県央

県北

県南

１．令和５年度第1回地域部会の開催概要

議題	主な意見等	対応状況
➢ 令和4年度の振り返り	➢ 意見なし	
➢ 計画策定に向けた意見交換		
➢ 県への要望	➢ ICカード導入支援（県統一カード） ➢ グリスロやEVバス導入に関わる財政的支援等 ➢ MaaSにおける統一的な仕組みの構築 ➢ 栃木駅のバスターミナルプロジェクトの支援 ➢ 路線バスの時刻表（GTFSデータ）のオープンデータ化の促進 ➢ 自動運転バスの実装に向けた協力、支援 ➢ 補助制度の見直し、補助等における資料の簡略化 ➢ 公共交通における継続運行を見据えた支援 ➢ 定期券購入、スクールバスの運行等における学生への支援 ➢ 広域路線における他市町との調整・補助 （市境でのデマンド交通の連結、広域路線バス、利便性の高いネットワーク形成） ➢ 全体的な財政支援 ➢ 野木町へのお一バスの延伸に対する反対意見が住民からあり実現が難航している。広域的な観点から「事例の提示・代替案の提示」等のアドバイスをいただきたい	➢ 施策への位置付けを検討
	➢ 乗降客数だけでなく、観光や地域貢献度等の指標からの新たな評価	➢ 評価指標への位置づけを検討
➢ 目標・方向性について	➢ 幹枝葉で運行することを維持するため、沿線の市町や交通事業者との連携が必要不可欠であり、「目標⑤多様な主体が連携し、共創する公共交通」内の交通事業者との連携は際立たせても良いと思う。	➢ 前回協議会、地域部会を踏まえ目標を再整理
➢ 事例整理	➢ 「おでさぽ70（関東自動車、JRバス関東）」が進められており、70歳以上の高齢者に対する外出支援事業を行っており、波及できると良い ➢ 「MOVENEXT宇都宮」と掲げ、公共交通の利用促進運動を積極的に展開予定 ➢ デマンド交通に関する支援について要望が多く、民生委員の方に協力をいただき、デマンド交通を利用した買い物ツアーを慣行し、ヒアリングを実施 ➢ 高齢者に対する情報発信を目的に、公共交通総合マップ（さくら市）を作成した。好評であることから増版を行い再設置した ➢ 「お一バス」では、チラシの配布等による利用者への周知を行うことでバス利用者が200人程度増加した	➢ 県内の横展開に向け、施策内で事例整理を行う